

フクシマを忘れない！ さよなら原発

3・15 脱原発集会

3月15日、日比谷野音でフクシマを忘れない脱原発集会が行われました。司会は、女優の木内みどりさん、呼びかけ人アピールは、内橋克人（経済評論家）大江健三郎（作家）澤地久枝（作家）賛同アピールに秋山豊寛（元宇宙飛行士）閉会挨拶には、鎌田慧（ルポライター）が参加され、会場は晴天に恵まれ5,000人以上で入りきれない人でいっぱいでした。

福島原発事故から3年たったいまも何も収束していない！

福島からの報告では、原発事故は収束には程遠く、被害者は形を変えている、26万人中74人が甲状腺ガンかその疑いがある。こうした切実なことが報道されません。作家の澤地久枝さんは、「この世の中が変わらなければ、福島は救われない」世直しをしましょう。元宇宙飛行士の秋山豊寛さんは、「福島原発の責任で誰が責任を取ったのか、東電の社長は巨額の退職金を貰いのうのと暮らしている。こんな不正義がまかり通っていると呼びかけました。

阿部政権は、みんなの気持ちと反対なことを次々と打ち出してくる。汚染水はコントロールされているなんて真っ赤な嘘だ。福島を救えずになぜオリンピックが出来るのかと怒りの呼びかけもありました。

故郷を奪われ！財産を奪われ！過去を失った福島の人たち！

いまも福島は汚染され続けています！

この東京も汚染されています。人ごとではありません。

私たちには、子供たちに安心して住める環境を作る責任があります。今の政府のままではその責任が取れません。原発を無くして、他のエネルギーを活用して二度とこのような事故が起きないように、脱原発の声を広めていきましょう。

脱原発！再稼働反対！子供達に安心して住める未来を！